

令和8年度 国語科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・ 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりできる。
- ・ 論理的な思考力や豊かな想像力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを適切に表現できる。
- ・ 言葉がもつ価値に気付き、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合う態度を養う。

2 指定教科書

国語科	1学年	教科書名（出版社）	国語1（光村図書）
		副教材	単元別漢字1、国語便覧、日常に使える役立つ文法、スタディサプリ、国語の学習1年、習字道具

3 学習到達目標

- ・ 基本的な語彙や文章の読み方・書き方を身に付けるとともに古典における知識を身に付ける。
- ・ 論理的に読解し意見を構築する力、少ない言葉から想像を膨らませる力を身に付け適切に表現する。
- ・ 言葉の適当な使い方に気を配り、身に付けた語彙や表現を活かして思いや考えを伝え合う。
- ・ 古典においては、暗唱を通じて特有のリズムに親しむとともに現代との共通点と相違点について理解する。
- ・ 書写においては、書道による学習を基本として、楷書の基本的な点画や運筆の仕方を身に付ける。

4 学習の進め方

- ・ 週に一度漢字テストを行う。漢字テストの内容は事前に予告するので家庭学習で取り組む。
- ・ 各題材を通読する。その後、語句の意味を確認したり、疑問点や初発の感想を書いたりする。
- ・ 文章の構成や難解な部分の精読を行う。主張や主題につながる表現について確認をする。
- ・ 書かれていることを根拠として、自分の主張や自分の考える主題について適切に表現する。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力を要する	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力を要する	20%以上
1	一層努力を要する	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・ 単元ごとの話し合いや長期休業明けの語彙に関するテストにおいてタブレットを活用する。
- ・ 発表や探究学習の際にタブレットを活用し深い学びを実現していく。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

国語

学期・月	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
<p>1 学期</p> <p>4</p>	<p>朝のリレー（2）</p> <p>野原はうたう（3） 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう</p> <p>はじまりの風（4）</p> <p>情報を聞き取り、要点を伝える（1）</p>	<p>◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。（知・技(1)ア） ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）</p> <p>◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。（知・技(1)ア） ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等） ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。（知・技(2)イ） ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。（知・技(3)オ） ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表 B(1)ア） ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等） ★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。（思・判・表 B(2)ア）</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。（知・技(2)イ） ◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。（思・判・表 C(1)イ） ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等） ★物語を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。（思・判・表 C(2)イ）</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。（知・技(2)イ） ◎目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。（思・判・表 A(1)ア） ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等） ★紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。（思・判・表 A(2)ア）</p>	<p>【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。（(1)ア） 【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。（(1)ア） 【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 【知・技】 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。（(2)イ） ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。（(3)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。 【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。（(2)イ） 【思・判・表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。（(1)イ） 【態】場面の展開や心情の変化等について、描写を基に積極的に捉え、学習の見直しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。 【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。（(2)イ） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。（A(1)ア） 【態】聞き取った情報を進んで整理し、学習課題に沿って、要点を伝えようとしている。 【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。（(1)ア） 【態】声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の働きや仕組みについて理解を深めようとしている。 【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。（(1)ア） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。（A(1)イ） ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。（A(1)ウ） 【態】話の構成を粘り強く考え、学習の見直しをもってスピーチしようとしている。</p>
<p>5</p> <p>音声の仕組みや働き（1）</p> <p>話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする（4）</p> <p>漢字の組み立てと部首（1）</p>	<p>◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。（知・技(1)ア） ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）</p> <p>◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。（知・技(1)ア） ◎自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。（思・判・表 A(1)イ） ◎相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。（思・判・表 A(1)ウ） ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等） ★紹介など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。（思・判・表 A(2)ア）</p> <p>◎学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)イ） ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）</p>	<p>【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。（(1)ア） 【態】声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の働きや仕組みについて理解を深めようとしている。 【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。（(1)ア） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。（A(1)イ） ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。（A(1)ウ） 【態】話の構成を粘り強く考え、学習の見直しをもってスピーチしようとしている。 【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)イ） 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	

<p>ダイコンは大きな根？（2）</p>	<p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表(1)ア) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表(2)ア)</p>	<p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(1)ア) 【態】文章の中心的部分と付加的な部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。</p>
<p>ちよっと立ち止まって（3）</p>	<p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表(1)ア) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表(2)ア)</p>	<p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(1)ア) 【態】進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>情報整理のレッスン 比較・分類（1）</p>	<p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【態】情報の整理のしかたについて積極的に理解を深め、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。</p>
<p>空の詩 三編 【書く】詩の創作教室 （3）</p>	<p>◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) ◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表(1)エ) ◎根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表(1)ウ) ◎根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★詩や解説文を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表(2)イ) ★詩を創作し、感じたことや考えたことを書く。(思・判・表(2)ウ)</p>	<p>【知・技】 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(1)エ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(1)オ) 【態】詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。</p>
<p>さまざまな表現技法（1）</p>	<p>◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>【知・技】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) 【態】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、学習課題に沿って、積極的に理解を深めようとしている。</p>
<p>比喩で広がる言葉の世界（2）</p>	<p>◎比喩などの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) ◎文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表(1)ア) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★解説の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表(2)ア)</p>	<p>【知・技】比喩などの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(1)ア) 【態】進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。</p>
<p>言葉の単位（1）</p>	<p>◎単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>【知・技】単語の類別について理解している。(1)エ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる言葉の単位について理解しようとしている。</p>
<p>心情を表す言葉（1）</p>	<p>◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。</p>

<p>7</p>	<p>情報収集の達人になろう コラム 著作権について知ろう (3)</p> <p>読書を楽しむ(1)</p> <p>本の中の中学生 あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ 読書案内 本の世界を広げよう コラム 本との出会い (1)</p>	<p>◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表 C(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表 B(2)ア) ★学校図書館などを利用して、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。(思・判・表 C(2)ウ)</p> <p>◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表 C(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。(思・判・表 C(2)ウ)</p>	<p>【知・技】 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) 【態】引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、今までの学習を生かして収集した情報を基に考えたことを書くようとしている。</p> <p>【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) 【態】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。</p> <p>【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) 【態】進んで文章を読み、理解したことに基づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>2学期 9</p>	<p>大人になれなかった弟たちに…… (4)</p> <p>星の花が降るころに (5)</p> <p>項目を立てて書こう 案内文を書く (3)</p> <p>【推敲】読み手の立場に立つ(1)</p>	<p>◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) ◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表 C(1)イ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★物語を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表 C(2)イ)</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。(思・判・表 C(1)ウ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表 C(2)イ)</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア) ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表 B(1)イ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。(思・判・表 B(2)イ)</p> <p>◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ◎読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表 B(1)エ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★行事の案内を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。(思・判・表 B(2)イ)</p>	<p>【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) 【態】登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている。</p> <p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(C(1)ウ) 【態】進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見直しをもって考えを伝え合おうとしている。</p> <p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【態】必要な情報を積極的に集めて整理し、学習の見直しをもって案内文を書くようとしている。</p> <p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【思・判・表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ) 【態】粘り強く文章を推敲し、今までの学習を生かして案内文を書き改めようとしている。</p>

<p>10</p>	<p>方言と共通語 (1)</p> <p>聞き上手になろう 質問で話を引き出す (2)</p> <p>漢字の音訓 漢字に親もう2 (1)</p> <p>「言葉」をもつ鳥、シジウカラ(5)</p> <p>意見と根拠 (1)</p> <p>根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する (5)</p>	<p>◎共通語と方言の果たす役割について理解することができる。(知・技(3)ウ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ◎必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点など を踏まえて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表 A(1)工) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述 べたりする。(思・判・表 A(2)ア)</p> <p>◎学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度 から 400 字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のう ち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 (知・技(2)ア) ◎文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表 C(1) 工) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★記録の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりす る。(思・判・表 C(2)ア)</p> <p>◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 (知・技(2)ア) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方 について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 (思・判・表 B(1)ウ) ◎根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点 や改善点を見いだすことができる。(思・判・表 B(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそ れを基に考えたことを書く。(思・判・表 B(2)ア)</p>	<p>【知・技】共通語と方言の果たす役割について理解 している。(3)ウ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に共通語と 方言の果たす役割について理解しようとしている。</p> <p>【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深 めている。(1)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、必 要に応じて記録したり質問したりしながら話の内 容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分 の考えをまとめている。(A(1)工) 【態】進んで質問しながら話の内容を捉え、学習し たことを生かして話を引き出そうとしている。</p> <p>【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に 加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字 配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や 文章の中で使っている。(1)イ) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり 書いたりしようとしている。</p> <p>【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報 との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や 展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1) 工) 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え、学 習の見通しをもって考えたことを文章にまとめよ うとしている。</p> <p>【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報 との関係について理解している。(2)ア) →適切な根拠や、意見と根拠の結びつきについて理 解している。 【態】根拠の客観性や理由づけに無理がないかを積 極的に検討し、学習課題に沿って、意見と根拠の関 係について理解を深めようとしている。</p> <p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理 のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理 解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自 分の考えが伝わる文章になるように工夫してい る。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、 読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい 点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【態】根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習 の見通しをもってレポートを作成しようとしてい る。</p>
<p>11</p>	<p>漢字に親もう3 (1)</p> <p>聴きひたる 大阿蘇 (1)</p> <p>古典の世界 音読を楽しむ いろは歌 (1)</p>	<p>◎学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度 から 400 字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のう ち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の 意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かに することができる。(知・技(1)ウ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>◎古典にはさまざまな種類の作品があることを知ることができる。(知・技(3)イ) ◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズ ムを通して、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に 加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字 配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や 文章の中で使っている。(1)イ) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり 書いたりしようとしている。</p> <p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増す とともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との 関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、 語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【態】進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を 磨きながら、今までの学習を生かして詩を味わおう としている。</p> <p>【知・技】 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っ ている。(3)イ) ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知 り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古 典の世界に親しんでいる。(3)ア) 【態】積極的に古文を繰り返して音読し、3 年間の 学習の見通しをもって、古典の世界に親しもうとし</p>

<p>蓮菜の玉の枝 ——「竹取物語」から(4)</p> <p>今に生きる言葉 故事成語を使って体験文を書こう (3)</p> <p>「不便」の価値を見つめ直す 筆者の主張に対する自分の意見を書こう(4)</p> <p>原因と結果(1)</p> <p>漢字に親しもう4(1)</p> <p>【話し合い(進行)】 進め方について考えよう (1)</p> <p>話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、もの見方を 広げる(4)</p> <p>研究の現場ようこそ 四百年のスローライフ はやぶさ2 最強ミッションの真実</p>	<p>◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにする事ができる。(思・判・表 C(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★古文を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表 C(2)イ)</p> <p>◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにする事ができる。(思・判・表 C(1)オ) ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表 B(1)イ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★漢文を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表 C(2)イ) ★本や資料から文章を引用して説明するなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表 B(2)ア)</p> <p>◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。(思・判・表 C(1)ウ) ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにする事ができる。(思・判・表 C(1)オ) ◎根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表 B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめる。 (思・判・表 C(2)ア) ★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表 B(2)ア)</p> <p>◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>◎学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>◎意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。(思・判・表 A(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(思・判・表 A(2)イ)</p> <p>◎意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。(思・判・表 A(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(思・判・表 A(2)イ)</p> <p>◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにする事ができる。</p>	<p>ている。</p> <p>【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) 【態】進んで古文を音読し、今までの学習を生かして描かれている古典の世界を想像しようとしている。</p> <p>【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【態】積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。</p> <p>【知・技】 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。</p> <p>【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【態】今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。</p> <p>【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) 【態】進んで話題や展開を捉え、学習課題に沿って、話し合いをよりよく進めるために気をつけることについて、考えをまとめようとしている。</p> <p>【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) 【態】積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見直しをもってグループで話し合いをしようとしている。</p> <p>【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)</p>
--	--	--

	<p>読書案内 本の世界を広げよう(1)</p>	<p>る。(思・判・表 C(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。(思・判・表 C(2)ウ)</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) 【態】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>3学期 1</p>	<p>少年の日の思い出 (7) 【書く】別の人物の視点から文章を書き換えよう 漢字に親しもう5 (1) 二十歳になった日 (4) 構成や描写を工夫して書く 体験を基に随筆を書く (5) 漢字の成り立ち (1) 一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する (4)</p>	<p>◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表 C(1)エ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表 C(1)オ) ◎根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表 B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表 C(2)イ) ★小説を書き換えるなど、感じたことや考えたことを書く。(思・判・表 B(2)ウ) ◎学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表 C(1)エ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★随筆を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表 C(2)イ) ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考慮することができる。(思・判・表 B(1)イ) ◎根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表 B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★随筆など、感じたことや考えたことを書く。(思・判・表 B(2)ウ) ◎学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表 A(1)ウ) ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見直しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ) →小学校で学習した漢字を使って文章を作ったり、中学校で学習する漢字の読み方について理解したりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) 【態】進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものの見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。 【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見直しをもって随筆を書くようとしている。 【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字の成り立ちについて理解しようとしている。 【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常</p>
<p>2</p>			

<p>3</p> <p>ぼくが ここに (2)</p> <p>国語の力試し (3) (読①話聞①書①)</p>	<p>★紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表 A(2)ア)</p> <p>★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表 B(2)ア)</p> <p>◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行うことができる。(思・判・表 C(1)オ)</p> <p>◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★詩を読み、考えたことなどを伝え合う。(思・判・表 C(2)イ)</p> <p>◎文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表 C(1)ア)</p> <p>◎表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表 C(1)工)</p> <p>◎話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。(思・判・表 A(1)オ)</p> <p>◎目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確に行うことができる。(思・判・表 B(1)ア)</p> <p>◎読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表 B(1)工)</p> <p>◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎音読に必要な文語のきまりを知り、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表 C(2)ア)</p> <p>★互いの考えを伝えるなどして、少数で話し合う。(思・判・表 A(2)イ)</p> <p>★行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。(思・判・表 B(2)イ)</p>	<p>生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確に行っている。(B(1)ア)</p> <p>【態】集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点を資料にまとめ、発表しようとしている。</p> <p>【知・技】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行っている。(C(1)オ)</p> <p>【態】積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)工) ・「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確に行っている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)工) <p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) ・音読に必要な文語のきまりを知り、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) <p>【態】今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。</p>
---	--	--

※定期考査の4時間は別に定めております。

書写・文法

月・学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1 学期 4	◎漢字を分解してみよう(1) (教科書 P38-39) ○言葉の単位(1)	◎点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書くことができる。[知技(3)工(ア)、(1)イ] ○文章・段落・文・文節・単語に分けることができる。	【知】点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。 【思】点画を書くなかで、穂先の向きや筆圧などを確かめている。 【態】進んで穂先の向きや筆圧などを確かめ、学習課題に沿って点画を書こうとしている。
5	漢字の筆使い(1) (教科書 P40-43) ○文の組み立て①(1) ○文の組み立て②(1)	◎点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。[知技(3)工(ア)、(1)イ] ○文の成分と主語と述語について理解し、適切に使用することができる。 ○修飾語・接続後・独立語について理解し、適切に使用することができる。	【知】点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。 【思】毛筆で書くなかで、漢字の筆使いを確かめている。 【態】進んで漢字の筆使いに注意し、学習課題に沿って書こうとしている。
6	楷書に調和する仮名(1) (教科書 P44-45) ○文の組み立て③(1) ○文の組み立て④(1)	◎楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書くことができる。[知技(3)ア、工(ア)] ○連文節・並立の関係・補助の関係について理解し、適切に使用することができる。 ○文をつなぐ言葉について理解し、適切に使用することができる。	【知】楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。 【思】小筆で書くなかで、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめている。 【態】積極的に楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、学習課題に沿って書こうとしている。
7	文字の大きさと配列(1) (教科書 P46-47) ○文の組み立て⑤(1)	◎文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。[知技(3)ア、工(ア)、(1)イ] ○練習問題を解くことができる。	【知】文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。 【思】決められたサイズの用紙に俳句を書くなかで、文字の大きさ、配列などを確かめている。 【態】進んで用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え、学習課題に沿って小筆で俳句を書こうとしている。
	[コラム]文字の歴史を探る(1) (教科書 P48-49)	◎漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解することができる。[知技(3)工(ア)・(イ)]	【知】漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。 【思】文字の大きさを確かめている。

			【態】積極的に文字の歴史について知ろうとし、学習課題に沿って身近な使用例を調べようとしている。
2学期	<p>行書の特徴 (教科書 P50-51)</p> <p>○単語の種類(1)</p> <p>○活用のない自立語①(1)</p>	<p>◎楷書と行書の違いや、漢字の行書の筆使いの特徴を理解することができる。【知技(3)エ(ア)・(イ)、(1)イ、A(1)オ、(2)イ】</p> <p>○自立語と付属語、活用、品詞について理解し、見分けることができる。</p> <p>○名詞について理解し、適切に使用することができる。</p>	<p>【知】楷書と行書の違いや、漢字の行書の筆使いの特徴を理解している。</p> <p>【思】速さを意識して書き比べる活動のなかで、両者の違いを確かめている。</p> <p>【態】積極的に速く書いたときの文字の特徴を捉え、学習の見通しをもって楷書と行書の違いや行書の筆使いの特徴を見つけようとしている。</p>
9	<p>行書スイッチを入れよう(1) (教科書 P52-53)</p> <p>○活用のない自立語②(1)</p> <p>○活用のない自立語③(1)</p>	<p>◎漢字の行書の特徴を理解することができる。【知技(3)エ(ア)・(イ)、(1)イ、A(1)オ、(2)イ】</p> <p>○代名詞について理解し、適切に使用することができる。</p> <p>○練習問題を解くことができる。</p>	<p>【知】漢字の行書の点画や筆順の特徴を理解している。</p> <p>【思】行書で書かれた手本をなぞるなかで、行書の点画や筆使いの特徴を確かめている。</p> <p>【態】積極的に行書の点画や筆順の特徴を考え、学習課題に沿って速く整えて書くための行書の特徴を押さえようとしている。</p>
10	<p>点画の変化 (教科書 P54-57)</p> <p>○活用のない自立語④(1)</p> <p>○活用のない自立語⑤(1)</p> <p>○活用のない自立語⑥(1)</p>	<p>◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。【知技(3)エ(イ)、(1)イ】</p> <p>○副詞について理解し、適切に使用することができる。</p> <p>○連体詞について理解し、適切に使用することができる。</p> <p>○練習問題を解くことができる。</p>	<p>【知】漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。</p> <p>【思】毛筆で書くなかで、行書の特徴<点画の変化>を確かめている。</p> <p>【態】進んで行書の書き方(点画の変化)を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。</p>
11	<p>点画の連続 (教科書 P58-61)</p> <p>(1)</p>	<p>◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解して、身近な文字を書くことができる。【知技(3)エ(イ)、(1)イ】</p>	<p>【知】漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解して、身近な文字を書いている。</p> <p>【思】毛筆で書くなかで、行書の特徴<点画の連続>を確かめている。</p> <p>【態】進んで行書の書き方(点画の連続)を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。</p>
12	<p>書初</p>		
3学期	<p>【国語】季節のしおり① (教科書 P62-63)</p> <p>○活用のない自立語⑦(1)</p> <p>○活用のない自立語⑧(1)</p> <p>○活用のない自立語⑨(1)</p>	<p>◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。【知技(3)ア、エ(ア)・(イ)、(1)イ】</p> <p>○接続詞について理解し、適切に使用することができる。</p> <p>○感動詞について理解し、適切に使用することができる。</p> <p>○練習問題を解くことができる。</p>	<p>【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p> <p>【思】季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p> <p>【態】積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。</p>
1			
2			
3			
	<p>【国語】情報収集の達人になろう (教科書 P64)</p> <p>(1)</p>	<p>◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。【知技(3)エ(ア)、(1)イ】</p> <p>○日常生活の中から課題を決め、情報を集めながら自分の考えをまとめることができる。【B(1)ア・イ】</p>	<p>【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p> <p>【思】情報をノートに記録する活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p> <p>【態】進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして集めた情報をノートにまとめようとしている。</p>

令和8年度 社会科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 指定教科書

社会科	1学年	教科書名(出版社)	中学生の歴史・中学生の地理(帝国書院)
		副教材	みつげよう?!歴史資料(東京法令出版) スタディサプリ ビジュアル地理I・II(東京法令出版) 積み上げ歴史1(明治図書)

3 学習到達目標

- ・我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関係を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

4 学習の進め方

- ・地理的分野においては、教科書を中心に学習し、位置や特色・空間的関係を確認できるように授業を進める。
- ・歴史的分野においては、教科書を中心に学習し、時代の流れや時系列を確認できるように授業を進める。
- ・班学習や調べ学習、そしてその発表等を行い、思考力や表現力の向上を目指す。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価	学習の実現状況
A 十分満足できる	80%以上
B おおむね満足できる	50%以上
C 努力を要する	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定	各評定の範囲
5 特に高い程度のもの	90%以上
4 十分満足できる	80%以上
3 おおむね満足できる	50%以上
2 努力を要する	20%以上
1 一層努力を要する	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・学習の振り返りについて、授業内で小テストなどを行う。
- ・班学習や調べ学習で、タブレットを使って教科書や資料集の補充をおこなう。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT(タブレットやTV、プロジェクターなど)、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい(めあて)が分かり、授業の終わりに振り返り(まとめ)がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

学期・月	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1 学期 4 5 6 7	[地理]世界と日本の地域構成(20時間) 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿 [歴史] 歴史のとらえ方と調べ方(2時間) 古代国家の成立と東アジア(10時間) 第1節 人類の登場から文明の発生へ 第2節 東アジアの中の倭	・大陸と州の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。(知識・技能) ・我が国の国土の位置、大陸や海洋、領域の範囲や変化とその特色などを基に、他国との関係や日本の地域構成を大観し理解する。(知識・技能) ・世界や日本の特色と課題を、国々の自然的、社会的、歴史的条件やSDGsとの関連などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。(思考・判断・表現) ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。(思考・判断・表現) ・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解する。(知識・技能) ・古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。(思考・判断・表現)	<知識・技能/思考・判断・表現> 左記の評価規準について、小テスト・定期テスト・提出課題を行い、評価する。 <主体的に取り組む態度> ・提出課題に対して主体的に追及しているかを評価する。 ・グループディスカッション等の話し合い活動において、主体的に自らの考えを発表しているかを評価する。
2 学期 9 10 11 12	[地理]世界のさまざまな地域(25時間) 第1章人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州 第2節 ヨーロッパ州 第3節 アフリカ州 [歴史]古代国家の成立と東アジア(14時間) 第3節 中国にならった国家づくり 第4節 展開する天皇・貴族の政治	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的、自然的、地球的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。(知識・技能) ・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。(思考・判断・表現) ・古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。(思考・判断・表現) ・古代までの日本について、課題を追究したり解決したりする活動を通して、知識を身に付ける。(知識・技能)	<知識・技能/思考・判断・表現> 左記の評価規準について、小テスト・定期テスト・提出課題を行い、評価する。 <主体的に取り組む態度> ・提出課題に対して主体的に追及しているかを評価する。 ・グループディスカッション等の話し合い活動において、主体的に自らの考えを発表しているかを評価する。
3 学期 1 2 3	地理 世界のさまざまな地域(20時間) 第2章 世界の諸地域 第4節 北アメリカ州 第5節 南アメリカ州 第6節 オセアニア州	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的、自然的、地球的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。(知識・技能) ・北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。(思考・判断・表現)	<知識・技能/思考・判断・表現> 左記の評価規準について、小テスト・定期テスト・提出課題を行い、評価する。 <主体的に取り組む態度> ・提出課題に対して主体的に追及しているかを評価する。

<p>[歴史]武家政権の成長と東アジア（10時間） 第1節 武士の世の始まり 第2節 武家政権の内と外</p>	<p>・ 武家政治の成立とユーラシアの交流や民衆の成長と新たな文化の形成について、課題を追究したり解決したりする活動を通して、知識を身に付ける。（知識・技能） ・ 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。（思考・判断・表現）</p>	
---	--	--

※定期考査の4時間は別に定めております。

令和8年度 数学科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能や数学的活動の楽しさや数学の良さに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う。

2 指定教科書

数学科	1学年	教科書名（出版社）	新しい数学1（東京書籍）
		副教材	数学の問題ノート、スタディサプリ みんなのサマー、みんなのウィンター がちりシリーズ数学1年間の振り返り

3 学習到達目標

- ・正負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。【知識・技能】
- ・拡張した範囲の数の性質や計算について考察する力、文字を用いて数量の関係や法則を表現する力、図形の構成要素や構成に着目して図形の性質や関係を直感的にとらえる力、2つの数量の変化から関数関係を見出してその特徴を式・表・グラフで表す力、データの分布を考察して集団の傾向を読み取る力、不確定な事象の起こりやすさについて考察する力を身に付ける。
【思考力・表現力・判断力】
- ・数学的活動の楽しさや良さを実感し、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、より良く問題解決しようとする態度を身に付ける。【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

- 授業の進め方
 - ・教科書に沿って講義形式で進め、問題演習等は生徒同士の学び合いを中心に進めていく。
- 思考力・判断力・表現力の高め方
 - ・問題演習の際に、周囲と伝え合い、教え合い活動をして自分の考えを整理する。
 - ・難しい問題に挑戦する。解答の別解を考えてみる。
- 望ましい家庭学習
 - ・予習 教科書を読み進める、副教材やeライブラリを解き進める。
 - ・復習授業で扱った問題をもう一度解いてみる、副教材やスタディサプリを解きなおす。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価	学習の実現状況
A 十分満足できる	80%以上
B おおむね満足できる	50%以上
C 努力を要する	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定	各評定の範囲
5 特に高い程度のもの	90%以上
4 十分満足できる	80%以上
3 おおむね満足できる	50%以上
2 努力を要する	20%以上
1 一層努力を要する	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習…副教材の活用、復習プリントを実施する。
- ・タブレットの活用…授業での問題提示や意見交換の際に活用する。また、eライブラリを使用する。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

学期・月	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
<p>1 学期</p> <p>4 5</p> <p>6 7</p>	<p>0章 算数から数学へ【4】</p> <p>1章 数の世界を広げよう【25】</p> <p>○正負の数(4)</p> <p>○加法と減法(8)</p> <p>○乗法と除法(10)</p> <p>○正負の数の利用(2)</p> <p>○章の問題(1)</p> <p>2章 数学のことは身につけよう【19】</p> <p>○文字を使った式(8)</p> <p>○文字式の計算(6)</p> <p>○文字式の利用(3)</p> <p>○章の問題(2)</p> <p>3章 未知の数の求め方を考えよう【15】</p> <p>○方程式とその解き方(7)</p>	<p>【正負の数】</p> <p>①正の数と負の数の必要性和意味を理解すること。</p> <p>②正の数と負の数の四則計算をすること。</p> <p><知識・技能></p> <p>素数について理解し、素因数分解ができる。</p> <p>正負の数の必要性和を理科し、四則の計算方法を身に付けている。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>正負の数の四則計算の方法や活用して様々な事象における変化を考察し表現することができる。</p> <p><主体的に取り組む態度></p> <p>正負の数の必要性和を考え、生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>【文字と式】</p> <p>①文字を用いること必要性和意味を理解すること</p> <p>②文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。</p> <p>③簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。</p> <p><知識・技能></p> <p>文字を用いること必要性和を理科し、文字を用いた式で表したり読み取ったりすることができる。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。</p> <p><主体的に取り組む態度></p> <p>文字を用いること必要性和や学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>①方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。</p> <p>②簡単な一元一次方程式を解くこと。</p> <p><知識・技能></p> <p>文字を用いること必要性和を理科し、文字を用いた式で表したり読み取ったりすることができる。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。</p> <p><主体的に取り組む態度></p> <p>文字を用いること必要性和や学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p>	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末テスト <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末テスト ・振り返りシート <p><主体的に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末テスト ・問題集(提出物) ・振り返りシート <p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末テスト <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末テスト ・振り返りシート <p><主体的に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末テスト ・問題集(提出物) ・振り返りシート <p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末テスト <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末テスト ・振り返りシート <p><主体的に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末テスト ・問題集(提出物) ・振り返りシート ・夏休みの課題レポート
<p>2 学期</p> <p>9</p> <p>10</p>	<p>○1次方程式の利用(6)</p> <p>○章の問題(2)</p> <p>4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう【23】</p> <p>○関数と比例・反比例(5)</p> <p>○比例の性質と調べ方(7)</p> <p>○反比例の性質と調べ方(6)</p> <p>○比例と反比例の利用(3)</p> <p>○章の問題(2)</p>	<p>①関数関係の意味を理解すること。</p> <p>②比例、反比例について理解すること。</p> <p>③座標の意味を理解すること。</p> <p>④比例、反比例を表、式、グラフなどに表すこと。</p> <p><知識・技能></p> <p>関数関係の意味を理解し、比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>比例、反比例として捉えられる2つの数量について、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。</p> <p><主体的に取り組む態度></p> <p>関数関係の意味を考え、比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p>	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末テスト <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末テスト ・振り返りシート <p><主体的に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末テスト ・問題集(提出物) ・振り返りシート

<p>1 1</p>	<p>5章 平面図形の見方を広げよう【18】 ○図形の移動 (6) ○基本の作図 (8) ○おうぎ形 (2) ○章の問題 (2)</p>	<p>①平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解することができる。 ②平行移動、対象移動</p> <p><知識・技能> 図形の移動について理解し、角の二等分線や垂直二等分線の作図の方法を理解している。 <思考・判断・表現> 二つの合同な図形の関係や基本的な作図の「方法を考察し、表現することができる。」 <主体的に取り組む態度> 平面図形の性質や関係を捉えることの必要性を考え、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p>	<p><知識・技能> ・定期考査 ・章末テスト <思考・判断・表現> ・定期考査 ・章末テスト ・振り返りシート <主体的に取り組む態度> ・定期考査 ・章末テスト ・問題集 (提出物) ・振り返りシート</p>
<p>3 学期 1 2 3</p>	<p>6章 立体の見方を広げよう【19】 ○いろいろな立体 (3) ○立体の見方と調べ方 (9) ○立体の体積と表面積 (5) ○章の問題 (2)</p> <p>7章 データを活用して判断しよう【11】 ○データの整理と分析 (5) ○データの活用 (2) ○ことがらの起こりやすさ (3) ○章の問題 (1)</p> <p>数学の自由研究 (2)</p>	<p>①空間における直線や平面の位置関係を知ること。 ②扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めること。</p> <p><知識・技能> 空間における直線や平面の位置関係を理解し、柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。 <思考・判断・表現> 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすることができる。 <主体的に取り組む態度> 空間図形の性質や関係を捉えることの必要性を考え、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>①ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。 ②コンピューターなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理すること。</p> <p><知識・技能> ヒストグラム、相対度数、累積度数、累積相対度数、代表値、範囲や多数回の試行による確率の必要性を理解している。 <思考・判断・表現> 目的に応じてデータを収集、分析し、そのデータを読み取り、批判的に考察し判断することができる。 <主体的に取り組む態度> ヒストグラム、相対度数や多数回の試行によって得られる確率の必要性や意味を考え、生活や学習に生かそうとしている。</p>	<p><知識・技能> ・定期考査 ・章末テスト <思考・判断・表現> ・定期考査 ・章末テスト ・振り返りシート <主体的に取り組む態度> ・定期考査 ・章末テスト ・問題集 (提出物) ・振り返りシート</p> <p><知識・技能> ・定期考査 ・章末テスト <思考・判断・表現> ・定期考査 ・章末テスト ・振り返りシート <主体的に取り組む態度> ・定期考査 ・章末テスト ・問題集 (提出物) ・振り返りシート</p>

※定期考査の4時間は別に定めております。

令和8年度 理科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 指定教科書

理科	1学年	教科書名(出版社)	新しい科学 1 (東京書籍)
		副教材	理科の完全学習 1年 (正進社)、スタディサプリ

3 学習到達目標

- ・いろいろな生物について、見通しをもって観察・実験などを行い、共通点と相違点と関連付けてその結果を分析して解釈し、植物や動物を分類するための観点や基準を見いだして表現することができるようになる。
- ・身のまわりの物質について、見通しをもって観察・実験などを行い、物質の性質や変化と関連付けてその結果を分析して解釈し、物質の性質や状態変化における規則性や関係性を見いだして表現することができるようになる。
- ・光・音・力について、観察・実験などを行い、その事物・現象を日常生活や社会と関連付けてその結果を分析して解釈し、光・音・力の特徴や規則性を見いだして表現することができるようになる。
- ・大地のなり立ちと変化について、地層や岩石の観察・実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、地層や火山、地震、その災害についての特徴や関係性を見いだして表現することができるようになる。

4 学習の進め方

- ・「課題を把握する→仮説を立てて議論し考えを深める→観察・実験を行う→考察をする」という基本的な学習の流れを柱としながら、考察・推論したことを結論付けたり、発表したり、レポートにまとめたりすることで課題を解決していく授業を展開する。
- ・観察・実験の結果を処理する段階、仮説の妥当性を検討する段階、新たな知識やモデル等を創造する段階で行われる生徒間の意見交換・議論を通して、思考力・判断力・表現力の伸長を図る。
- ・授業で獲得した知識を実際に活用できるように、家庭では副教材のワークやタブレット端末を活用する。
- ・学んだことを日常生活や社会に活用する態度を養うために、日常の現象と関連付けて生徒が興味をもちやすいような教材を用いて授業を行う。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力を要する	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力を要する	20%以上
1	一層努力を要する	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・各単元、各章の終了後など、定期的に副教材のワークを解いたりスタディサプリを活用したりすることで知識の定着を図る。
- ・教科書に記載のQRコードを読み取ることで、実験動画や関連する動画を視聴するなど、タブレット端末を活用した振り返りを行うことで、知識の定着を図る。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT(タブレットやTV、プロジェクターなど)、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい(めあて)が分かり、授業の終わりに振り返り(まとめ)がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

学期・月	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1学期 4 5 6 7	いろいろな生物とその共通点(25) ・生物の観察と分類のしかた(6) ・植物の分類(10) ・動物の分類(9)	<知識・技能> 動植物の共通点や相違点に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <思考・判断・表現> 動植物についての観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 <主体的に取り組む態度> 動植物の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返るなど、科学的に探究しようとしている。	<知識・技能> 実験・観察・実習の取り組みの様子、ワークシートの記入状況、授業の取り組みの様子、定期考査、ワークシート、プリント、小テスト等 <思考・判断・表現> 定期考査、ワークシートの記入状況、実験プリントの考察への取り組みの様子、ノートの思考課題への取り組みの様子、小テスト等 <主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの様子、授業中の発言、ノートの記入状況、ワークシートの記入状況、ワークの記入状況等
2学期 7 9 10 11	身のまわりの物質(25) ・身のまわりの物質とその性質(7) ・気体の性質(5) ・水溶液の性質(7) ・物質の姿と状態変化(6)	<知識・技能> 身のまわりの物質の共通点や相違点に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <思考・判断・表現> 身のまわりの物質についての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。 <主体的に取り組む態度> 身のまわりの物質の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<知識・技能> 実験・観察・実習の取り組みの様子、ワークシートの記入状況、授業の取り組みの様子、定期考査、ワークシート、プリント、小テスト等 <思考・判断・表現> 定期考査、ワークシートの記入状況、実験プリントの考察への取り組みの様子、ノートの思考課題への取り組みの様子、小テスト等 <主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの様子、授業中の発言、ノートの記入状況、ワークシートの記入状況、ワークの記入状況等
3学期 12 1 2 3	身のまわりの現象(26) ・光の世界(10) ・音の世界(7) ・力の世界(9)	<知識・技能> 光・音・力に関わる現象の共通点や相違点に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <思考・判断・表現> 光・音・力に関わる現象についての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。 <主体的に取り組む態度> 光・音・力に関わる現象の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<知識・技能> 実験・観察・実習の取り組みの様子、ワークシートの記入状況、授業の取り組みの様子、定期考査、ワークシート、プリント、小テスト等 <思考・判断・表現> 定期考査、ワークシートの記入状況、実験プリントの考察への取り組みの様子、ノートの思考課題への取り組みの様子、小テスト等 <主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの様子、授業中の発言、ノートの記入状況、ワークシートの記入状況、ワークの記入状況等
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	大地の変化(25) ・火をふく大地(8) ・動き続ける大地(8) ・地層から読みとる大地の変化(9)	<知識・技能> 火山や地層・岩石の共通点や相違点に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <思考・判断・表現> 火山や地層・岩石についての観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見だして表現しているなど、科学的に探究している。 <主体的に取り組む態度> 火山や地層・岩石の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<知識・技能> 実験・観察・実習の取り組みの様子、ワークシートの記入状況、授業の取り組みの様子、定期考査、ワークシート、プリント、小テスト等 <思考・判断・表現> 定期考査、ワークシートの記入状況、実験プリントの考察への取り組みの様子、ノートの思考課題への取り組みの様子、小テスト等 <主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの様子、授業中の発言、ノートの記入状況、ワークシートの記入状況、ワークの記入状況等

※定期考査の4時間は別に定めております。

令和8年度 音楽科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・音楽の学習や活動を通して、豊かな感性を育成し、音楽を愛好する心を養う。

2 指定教科書

音楽科	1学年	教科書名(出版社)	中学生の音楽1(教育芸術社) 中学生の器楽(教育芸術社)
		副教材	マイソング(教育芸術社)、スタディサプリ(箏)

3 学習到達目標

- ・歌唱の活動を通して、表現に関わる知識や技能を身に付けてそれを生かし、歌唱表現を創意工夫することができるようになる。
- ・音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す特質を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができるようにする。
- ・鑑賞の活動を通して曲想と音楽の構造や背景などとの関わりや音楽の多様性について理解することができるようにする。
- ・主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽を愛好する心をもつ。
- ・日本の伝統音楽や文化に興味をもたせ、そのよさを世界に広める心情にする。

4 学習の進め方

- ・教科書を利用し、範晶(範奏)を主に抒情的な歌唱表現を工夫させる。
- ・鑑賞教材より西洋音楽の歴史(音楽文化の成り立ち)を理解させる。
- ・グループディスカッション等(各パートや指揮と伴奏)を行い、協働作業を通して思考力や表現力の向上を目指し、合唱を作り上げる。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価	学習の実現状況
A 十分満足できる	80%以上
B おおむね満足できる	50%以上
C 努力を要する	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定	各評定の範囲
5 特に高い程度のもの	90%以上
4 十分満足できる	80%以上
3 おおむね満足できる	50%以上
2 努力を要する	20%以上
1 一層努力を要する	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・模範歌唱や合唱を動画にて学習する。
- ・日々の学習の振り返りや定期考査の学習においては、スタディサプリを使用する。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT(タブレットやTV、プロジェクターなど)、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい(めあて)が分かり、授業の終わりに振り返り(まとめ)がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

学期・月	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法	
1 学期 4	校歌<斉唱>(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生としての自覚を促し、歌詞を覚え、旋律の流れをつかんで歌う。 ・歌詞にこめられた思いを生かし、発声の仕方に気を付けながら、表現を工夫して歌う。 ・姿勢や呼吸に注意して、明るく響きのある歌声を見つける。 ・旋律の特徴や強弱の変化に気を付けながら、表現を工夫して歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌…正しい音程、明確な発音→実技テスト【技能】 ・歌詞、曲の特徴、作者など→定期考査【学習に向かう態度】→観察 ・姿勢や呼吸法【思考・判断・表現】→観察 ・構成、特徴、作者、歌詞など【学習に向かう態度】→観察 	
	5	浜辺の歌(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌う。 ・8分の6拍子にのって、フレーズを感じ取りながら歌う。 ・パートの役割を理解し、詞の内容を考えながら正しい音程で表現を工夫して歌い合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拍子の感得、歌詞と情景の関係【思考・判断】→観察
	6	春～第1楽章～(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴く。 ・合奏と独奏の対比や、曲の構成に気を付けながら聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソネットや弦楽器の種類など楽曲の特徴について【知識】→定期考査 ・特徴をとらえたまとめ【思考・判断・表現】→鑑賞ノート
	7	道(10) (混声三部合唱)	<ul style="list-style-type: none"> ・混声合唱の響きを生かしながら、互いの声や伴奏をよく聴いて歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音程・発音【技能】、発声・曲想【思考・判断・表現】、曲の特徴など【思考・判断】→実技テスト
		合唱コンクールの自由曲(7) (混声三部合唱)	<ul style="list-style-type: none"> ・各パートの役割や、旋律の重なり方の違いに注意して、表現を工夫して歌う。 ・作者のメッセージを理解し、曲想を感じ取って表現を深める工夫をして歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱コンクールにて発表【知識・技能】 ・作者からのメッセージ、曲の内容を考察【思考・判断】→ワークシート
	2 学期 9	魔王 Erkonig(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の内容や音楽の特徴に気を付けて、場面の様子を想像しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・語り手、父、庫、魔王の旋律の雰囲気や歌い方の違いに注目しながら聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の内容、曲の特徴【知識】→定期考査 ・特徴をとらえたまとめ【思考・判断・表現】→鑑賞ノート
10		リズムゲーム(3) <創作1>	<ul style="list-style-type: none"> ・音符や休符の長さの割合を理解して、リズムを作る。 ・音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム創作【思考・判断・表現】→発表 ・短い旋律の創作【思考・判断・表現】→発表 ・国の特徴をとらえた感想【思考・判断】
11		アジアの諸民族の音楽(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの国特有の楽器の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、それぞれのよさや美しさを味わって聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> 【思考・判断】ワークシート
12		雅楽「平調越天楽」～管弦(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や旋律の特徴などに注意しながら、雅楽のよさや美しさを味わって聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雅楽(管弦)の特徴【知識】→定期考査 ・序破急、箏の各部名称等について【知識】→定期考査 ・特徴をとらえたまとめ【思考・判断・表現】→鑑賞ノート
3 学期 1		箏曲「六段の調」(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・箏の音色、旋律の特徴、速度の変化に気を付けながら、箏曲のよさや美しさを味わって聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの主旋律【技能】→実技テスト ・短い旋律を創作【思考・判断・表現】→発表 ・1曲を選択して原稿作り→プレゼンテーション【思考・判断・表現】
	2	箏の演奏「ふるさと」(2) 日本の音楽をつくる <創作2>(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の特性を理解して、奏法を身につける。 ・箏の音色や余韻の変化を感じ取る。 ・平調子(陰音階)、乃木調子(陽音階)を感得し、短い旋律をつくる。 	
	3	曲のよさをプレゼンする(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを生かして、薦めたい1曲を選び、その曲のよさを音楽と関連付けてプレゼンテーションする。 	

※定期考査、実技テストの3時間は別に定めております。

令和8年度 美術科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・造形的な視点について理解するとともに、表現方法を工夫して表すことができるようにする。また、自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和などについて考え、美術文化に対する感じ方を広げることができるようにし、楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 指定教科書

美術科	1学年	教科書名(出版社)	美術1 (光村図書)
		副教材	資料集 美術資料(秀学社) スタディサプリ (用具 クロッキー帳、ポスターカラー、タブレット、鉛筆、粘土、陶土)

3 学習到達目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・楽しく美術活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

4 学習の進め方

- ・美術の表現に関する資質・能力が幅広く身につくように1学年で様々な美術表現の基礎となる知識・技能の定着を図る。
- ・題材ごとに鑑賞の時間を設定し、作者がどのようにして主題を生み出し、表現の工夫をしているのかについて考えさせ、思考力・判断力・表現力の育成につなげる。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力を要する	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力を要する	20%以上
1	一層努力を要する	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・個別最適な学びのために、授業内で使用する資料や作品制作の手立てをデジタルとアナログの媒体両方を用いる。
- ・美術表現の可能性を広げるために、映像メディアの積極的な活用を図る。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がいていいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT(タブレットやTV、プロジェクターなど)、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい(めあて)が分かり、授業の終わりに振り返り(まとめ)がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

学期・月	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
<p>1学期</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p>	<p>オリエンテーション（1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図工と美術の違い ・美術的なものの見方・考え方 ・評価方法の確認 <p>見つめ、感じ取り、描く（4時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「描く」ということ ・構図と配置 ・形や光の捉え方 <p>文字で楽しく伝える（12時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レタリング ・色の与える感情効果 ・絵の具の使い方 	<p>○美術についての理解を深める</p> <p><知識・技能> ものの形や光の捉え方を理解し、構図や配置を考えて、鉛筆の濃淡を工夫して陰影を表現する技能を身につけている。</p> <p><思考・判断・表現> モチーフを観察して感じ取った形や色の美しさを基に主題を生み出し、構図や配置、デッサンの濃淡の表現を工夫し主題に合わせた表現をしたり、他者の作品を鑑賞したりすることでさまざまな濃淡の表現方法の違いや形の捉え方を身に付けている。</p> <p><知識・技能> オノマトペの音や意味から想像されるイメージを基に、見る人に伝わりやすく美しい文字の形や色の与える感情効果を工夫して表現したり、デザインを生かした着彩方法や手順を身に付けたりしている。</p> <p><思考・判断・表現> オノマトペの音や意味から想像されるイメージを基に主題を生み出し、他者に伝わるように形や色の工夫を考えている。</p>	<p><知識・技能> 期末考査、ワークシート、作品</p> <p><思考・判断・表現> 作品、期末考査</p> <p><主体的に取り組む態度> 授業中の取り組み、ワークシート、授業の振り返り</p> <p><知識・技能> 期末考査、ワークシート、</p> <p><思考・判断・表現> ワークシート、期末考査</p> <p><主体的に取り組む態度> 授業中の取り組み、ワークシート、授業の振り返り</p>
<p>2学期</p> <p>9</p> <p>10</p> <p>11</p> <p>12</p>	<p>自然の色や形を見つめて（13時間）</p> <p>生活の中の焼き物（3時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板づくり ・形の構成 	<p><知識・技能> 野菜の形や色を観察して生み出した主題に合わせて、道具を選択して形成を工夫したり、色の知識を身に付けて、混色や重色を工夫したりしている。</p> <p><思考・判断・表現> 野菜を見たり触ったりして見つけた新たな発見などを基に主題を生み出し、混色や重色を利用して手を表現しようと考えている。</p> <p><主体的に取り組む態度> 野菜を観察して積極的に野菜の形や色の特徴などを感じ取り取ろうとしたり、混色や重色をして手の色味を再現しようとしたりしている。</p> <p><知識・技能> 板づくりの知識や制作手順を身に付け、粘土の特徴や使用目的に合わせて形や色を選択し、表現を工夫することができる。</p> <p><思考・判断・表現> 板づくりの特徴から使用方法に合わせて、形や色の表現の工夫を考えている。</p>	<p><知識・技能> 期末考査、ワークシート、作品</p> <p><思考・判断・表現> 作品、作品解説、期末考査</p> <p><主体的に取り組む態度> 授業中の取り組み、ワークシート、授業の振り返り</p> <p><知識・技能> 期末考査、ワークシート、作品</p> <p><思考・判断・表現> 作品、作品解説、期末考査</p> <p><主体的に取り組む態度> 授業中の取り組み、ワークシート、授業の振り返り</p>

<p>3学期</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>響きあう形と色（10時間）</p> <p>・モダンテクニックの鑑賞</p> <p>・モダンテクニックの技法</p>	<p><知識・技能></p> <p>形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基にイメージで捉えている。</p> <p>自分の気持ちや印象に合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して表している。</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>自分の気持ちや印象などを基に主題を生み出し、形や色彩などで表すための構成や工夫について考えている。</p>	<p><知識・技能></p> <p>期末考査、ワークシート、作品</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>作品、作品解説、期末考査</p> <p><主体的に取り組む態度></p> <p>授業中の取り組み、ワークシート、授業の振り返り</p>
---------------------------------------	--	--	---

※定期考査の3時間は別に定めております。

令和8年度 保健体育科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・体育や保健の味方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。

2 指定教科書

保健体育	1学年	教科書名（出版社）	最新中学校保健体育（大修館書店）
		副教材	図解中学体育、スタディサプリ

3 学習到達目標

- ・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に着けるようにする。
- ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

4 学習の進め方

- ・体育分野では、毎時間のランニングとトレーニングを取り入れることにより、基礎体力を向上させる。また、毎時間の活動を学習カードに記録することにより、自己の取り組みや課題を明確にさせる。授業の進め方は、基本動作の習得と安全に行える動作を目指し、生徒が「わかった」、「できた」という喜びを習得させると同時に、ペアやグループの学習を多く取り入れ、授業内の言語活動を充実させ、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。また、ICTを積極的に活用し、視覚的に自他の動きがわかるようにする。
- ・保健分野では、保健の見方・考え方を働かせて、課題を発見し解決できるようにする。また、生涯を通じて心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する。授業の進め方は、毎時間の取り組みがわかのようにプリントを配付しノートを作成する。また、ICTの活用により、画像や動画から生徒が視覚的に理解できるようにする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価	学習の実現状況
A 十分満足できる	80%以上
B おおむね満足できる	50%以上
C 努力を要する	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定	各評定の範囲
5 特に高い程度のもの	90%以上
4 十分満足できる	80%以上
3 おおむね満足できる	50%以上
2 努力を要する	20%以上
1 一層努力を要する	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・陸上競技の際など、数字を入力し記録をする。
- ・器械運動の際など、自他を動画で撮影し、動作の確認をする。
- ・毎時間の学習カードの記載、提出をする。
- ・保健の授業の際のスライドを提示する。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がていねいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

学期・月	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1学期 4	体づくり運動(3)	《知識・技能》 体づくり運動の意義と行い方、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする こと、話し合いに参加しようとするなどし、健康・安全に気を配ったりしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード(課題設定・解決、 考察等)、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード(振り返り等)、授業観察
		5	陸上競技 短距離走・リレー(7)
6	体力テスト(2)	《知識・技能》 体力テストの意義や体力評価、実施方法について理解している。 《思考・判断・表現》 体力テストの意義や体力評価、実施方法について、自己の課題を発見し、 よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 積極的に取り組むとともに、実施方法を守り、健康・安全に気を配ったり している。	《知識》 定期テスト 《思考・判断・表現》 定期テスト 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード(振り返り等)、授業観察
7	球技「ネット型」 バレーボール(8)	《知識・技能》 バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ボ ールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐ る攻防ができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、 自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 バレーボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、 健康・安全に気を配ったりしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード(課題設定・解決、 考察等)、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード(振り返り等)、授業観察
	保健 健康な生活と疾病の予防(3)	《知識・技能》 健康な生活と疾病の予防について、理解している(主体と環境、運動、食 事、休養)。 《思考・判断・表現》 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考 し判断しているとともに、それらを表現している。 《主体的に学習に取り組む態度》 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしてい る。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード(課題設定・解決、 考察等)、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード(振り返り等)、授業観察
	体育理論 運動やスポーツの多様性(1)	《知識・技能》 運動やスポーツが多様であることについて理解している。 ※技能に係る評価の対象はなし 《思考・判断・表現》 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよ い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組もう としている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード(課題設定・解決、 考察等)、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード(振り返り等)、授業観察
	水泳 クロール・平泳ぎ(10)	《知識・技能》 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。クロールで は手の足の動き、呼吸のバランスなどをと早く泳ぐことができる。平泳ぎ では、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード(課題設定・解決、

		<p>《思考・判断・表現》 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 水泳に積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ろうとすること、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど、健康や安全に気を配ったりしている。</p>	<p>考察等)、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード(振り返り等)、授業観察</p>
2学期 9	保健(6)	<p>《知識・技能》 心身の機能の発達と心の健康について、理解している(身体・思春期)・精神機能・欲求やストレス)。 《思考・判断・表現》 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 《主体的に学習に取り組む態度》 心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	<p>《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード(課題設定・解決、考察等)、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード(振り返り等)、授業観察</p>
10	空手(6)	<p>《知識・技能》 武道の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて抑えたりするなどの簡易な攻防を展開できる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</p>	<p>《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード(課題設定・解決、考察等)、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード(振り返り等)、授業観察</p>
	器械運動マット運動(7)	<p>《知識・技能》 マット運動の特性や成り立ち、技能の名称や行い方について理解し、基本的な技を滑らかに行うことができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 《主体的に学習に取り組む態度》 積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとし、健康・安全に気を配ったりしている。</p>	<p>《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード(課題設定・解決、考察等)、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード(振り返り等)、授業観察</p>
	陸上 走り幅跳び(6)	<p>《知識・技能》 走幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守り、健康・安全に気を配っている。</p>	<p>《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード(課題設定・解決、考察等)、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード(振り返り等)、授業観察</p>
11	体づくり運動(3)	<p>《知識・技能》 体づくり運動の意義と行い方、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどしたり、健康に気を配ったりしている。</p>	<p>知識・技能 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード(課題設定・解決、考察等)、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード(振り返り等)、授業観察</p>
12	体育理論(1)	<p>《知識・技能》 運動やスポーツが多様であることをについて理解している。 ※技能に係る評価の対象はなし 《思考・判断・表現》 運動やスポーツが多様であることをについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 運動やスポーツが多様であることをについての学習に積極的に取り組もうとしている。</p>	<p>《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード(課題設定・解決、考察等)、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード(振り返り等)、授業観察</p>

12	球技「ベースボール型」 ソフトボール（9）	<p>《知識・技能》 ソフトボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防することができる。</p> <p>《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》 ソフトボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。</p>	<p>《知識・技能》 定期テスト、学習カード</p> <p>《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察</p>
	ダンス 現代的なリズムのダンス 創作ダンス（9）	<p>《知識・技能》 ダンスの特性や由来、表現の仕方などについて理解している。リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って表現している。多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ること。</p> <p>《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》 ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする事、交流などの話し合いに参加しようすることなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</p>	<p>《知識・技能》 定期テスト、学習カード</p> <p>《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察</p>
3学期 1	保健（3）	<p>《知識・技能》 心身の機能の発達と心の健康について、理解している（身体・思春期）・精神機能・欲求やストレス）。</p> <p>《思考・判断・表現》 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》 心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	<p>《知識・技能》 定期テスト、学習カード</p> <p>《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察</p>
	体育理論（1）	<p>《知識・技能》 運動やスポーツが多様であることをについて理解している。 ※技能に係る評価の対象はなし</p> <p>《思考・判断・表現》 運動やスポーツが多様であることをについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》 運動やスポーツが多様であることをについての学習に積極的に取り組もうとしている。</p>	<p>《知識・技能》 定期テスト、学習カード</p> <p>《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察</p>
	体づくり運動（3）	<p>《知識・技能》 体づくり運動の意義と行い方、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。</p> <p>《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》 ・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする事、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする事、話し合いに参加しようとする事などしたり、健康に気を配ったりしている。</p>	<p>《知識・技能》 定期テスト、学習カード</p> <p>《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察</p>
	8陸上競技 長距離走（7）	<p>《知識・技能》 長距離走の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ペースを守って走ることができる。</p> <p>《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》 長距離走に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守り、健康・安全に気を配ったりしている。</p>	<p>《知識・技能》 定期テスト、学習カード</p> <p>《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察</p>
3	球技「ゴール型」 バスケットボール（7）	<p>《知識・技能》 バスケットボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ボール操作と空間に走りこむ動きなどの動きができる。</p> <p>《思考・判断・表現》</p>	<p>《知識・技能》 定期テスト、学習カード</p> <p>《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、</p>

		<p>自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》</p> <p>バスケットボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。</p>	<p>考察等)、授業観察</p> <p>《主体的に学習に取り組む態度》</p> <p>学習カード（振り返り等)、授業観察</p>
--	--	--	--

※定期考査の3時間は別に定めております。

令和8年度 技術科 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向け、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 指定教科書

技術科	1学年	教科書名(出版社)	新しい技術・家庭 未来を創る Technology (東京書籍)
		副教材	トライアルセクションカットシリーズ、スタディサプリ

3 学習到達目標

A 材料と加工の技術

- ・材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解する。
- ・製作に必要な図を書き、安全・適切な製作や検査・点検方法ができる。
- ・生活の中で問題を見出し課題を設定して、それを改善できるような製作品の設計・製作ができるようにする。
- ・生活や社会、環境とのかかわりを踏まえ、技術の概念を理解する。

4 学習の進め方

- ・道具の使い方や構造の仕組みなどを学習し、実際に練習して本番の製作に臨むように指導する。
- ・製作の中での実際の失敗例を通し、その失敗の原因が何なのかを考え学習したことを製作に生かす。
- ・生活の中での課題や学習した知識を通して、自ら課題を設定し、解決方法を調べ解決していく。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力を要する	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力を要する	20%以上
1	一層努力を要する	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・制作終了時に、製作等が遅れている生徒や取り組めていない生徒に対して、追加で補習を行う。
- ・課題の提出や製作の様子をタブレットで撮って、自らの改善に生かす。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がていねいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT(タブレットやTV、プロジェクターなど)、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい(めあて)が分かり、授業の終わりに振り返り(まとめ)がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

学期・月	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
<p>1学期 4</p> <p>2学期 9</p>	<p>ガイダンス（2）</p> <p>製図の読み取り（2）</p> <p>テックラボ（1） 加工の技術</p> <p>トライアルシリーズの制作 【14】</p> <p>・さしがね（2）</p> <p>・けがき（2）</p> <p>・両刃のこぎり（1）</p> <p>・削り作業（2）</p> <p>加工の技術</p> <p>・穴開け（2）</p> <p>・組立て（2）</p> <p>・仕上げの仕方（3）</p>	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 生活や社会を支えている材料と加工の技術について理解している。 木材・金属・プラスチックの利用例が指摘できる。 材料の特徴を生かした利用例や利用方法が指摘できる。 材料の特性と加工方法について理解している。 丈夫な製品を作るための技術の工夫について理解している。 木材の特徴を理解している。 材料に応じた加工方法が指摘できる。 製作に必要な図の描き方を理解し、図に表すことができる技能を身につけている。 工具の使い方が適切にできている。 製作図をもとに加工、組立、仕上げができています。 安全で適切な製作や検査、修正ができる技能を身につけている。 完成した作品に加工の失敗や正確な組立て、塗装仕上げができています。 生活や社会を支えている情報の技術について理解している。（知） 	<p><知識・技能></p> <p>生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び、材料と加工の技術と安全な生活や社会との関わりについて理解しているとともに、製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。（製品の制作、ワークシート、定期考査）</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けているとともに、安全な生活や社会の実現を目指して材料と加工の技術を評価し、適切に選択、管理・運用する力を身に付けている。（製品の制作ワークシート、定期考査）</p>
<p>3学期 1</p> <p>2</p>	<p>製作品の評価（3）</p> <p>問題解決の評価、改善・修正（1）</p> <p>これからの材料と加工の技術（1）</p> <p>身の回りの情報の技術（1）</p> <p>製作図の書き方（2）</p> <p>製図・立体の表現（5）</p>	<p><思考力・表現力・判断力></p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの製品の材料と加工について調べ、まとめている。 材料と加工の技術の問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気づくことができる。 使用目的を理解して製作品を決定することができる。 技術の見方・考え方を働かせて、材料と加工の技術に関わる問題を見いだし、課題を設定している。 製作の過程について考えている。 製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善・修正する方法について考えている。 材料や加工方法などを検討して、設計を具体化している。 設計に基づいて、製作の計画を立てている。 課題を解決するための技術の活用方法を考えている。 よりよい作品にするための技術を考えることができている。 <p><主体的に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 複雑な立体の表現に対し、あきらめず取り組むことができる。 主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。 振り返りシートの生活と関連付けて考えることができる。 	<p><主体的に学習に取り組む態度></p> <p>安全な生活や社会の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。（立体の表現、ワークシート）</p> <p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、情報の技術を工夫し創造しようとしている。（ワークシート）</p>

※定期考査の3時間は別に定めております。

令和8年度 技術・家庭科（家庭分野） 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- ・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 指定教科書

家庭科	1学年	教科書名（出版社）	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して（東京書籍）
		副教材	家庭科ワークノート A 家族・家庭生活（地域教材社） 家庭科ワークノート B-1 衣食住の生活 食生活（地域教材社） スタディサプリ

3 学習到達目標

- ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づく。
- ・健康・安全で豊かな食生活に向けて考え、工夫する活動を通して、中学生に必要な栄養の特徴や健康によい食習慣、栄養素や食品の栄養的特質、食品の種類と概量、献立作成、食品の選択と調理などに関する知識及び技能を身に付ける。
- ・これからの生活を展望して、食生活の課題を解決する力を養い、食生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

4 学習の進め方

- ・日常生活との関わりや課題を見だし、解決に必要な基本的な知識や技能の理解を図る。
- ・デジタルコンテンツやワークなどを適宜用いながら、基本的な知識や技能の理解を深める。
- ・実習・実践と基本的な知識・技能がつながるよう、関連する内容を相互に行う。
- ・調理実習の計画手順や段取りを自ら考え、ペアと協力して実習・実践することで、協力・協働すること大切さを学ぶとともに、次なる課題を設定し、改善していく活動を通して、思考・判断・表現力を養う。
- ・長期休業中の課題にて、家庭での実践を促す。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力を要する	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力を要する	20%以上
1	一層努力を要する	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・授業の資料や見本等の動画、ワークシート配布。
- ・課題（ワークシート等）提出。
- ・基本的な知識の定着（復習問題など）

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

学期・月	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1学期 4 5 6 7	ガイダンス(1) 私たちの家族と家庭生活(4) 食事の役割と中学生の栄養の特徴(2) 中学生に必要な栄養素を満す食事(6)	<知識・技能> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。 <知識・技能> ・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・健康により食習慣について理解している。 ・栄養素の種類と働きについて理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。 <思考力・表現力・判断力> ・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。 <知識・技能> ・食品の栄養的な特質について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類とが概量について理解している。 ・1日分の献立作成に方法について理解している。 <思考力・表現力・判断力> ・1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを理論的に表現している。	<知識・技能> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <知識・技能> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <思考力・表現力・判断力> ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・授業の取り組みの様子 <知識・技能> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・授業の取り組みの様子
2学期 9 10 11 12	日常食の調理と地域の食文化(11)	<知識・技能> ・食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 <思考力・表現力・判断力> ・日常の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを理論的に表現している。 ・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	<知識・技能> ・定期考査 ・ワークシートの記述 ・実習の取り組みの様子 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 ・実習の取り組みの様子 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・ワークシートの記述 ・授業の取り組みの様子
3学期 1 2 3	調理のための食品の選択と購入(6) 持続可能な食生活(2)	<知識・技能> ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品(生鮮食品・加工食品)の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 <思考力・表現力・判断力> ・食品の選択について、問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・持続可能な食生活を目指して、課題をその解決方法について考え、工夫している。	<知識・技能> ・定期考査 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・ワークシートの記述 ・授業の取り組みの様子

※定期考査の3時間は別に定めております。

令和8年度 外国語科（英語） 第1学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことと言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2 指定教科書

英語科	1学年	教科書名（出版社）	NEW HORIZON ENGLISH COURSE 1（東京書籍）
		副教材	ジョイフルワーク1、スタディサプリ

3 学習到達目標

- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

4 学習の進め方

- 帯活動で教師&生徒、生徒&生徒での会話を行うようなスピーキング教材を行う。
- 教科書内容解説はオールイングリッシュを目指し、既習表現を用いてリスニング&スピーキング能力を高める。
- 思考・判断・表現力向上のため、自由度の高い出題形式を意識して英作文の問題を作ることや、文法や語彙的な精度よりも思考しその場に応じた表現を判断し運用する能力を測るようなパフォーマンステストの評価基準を設定する。
- 家庭学習については、ワークやタブレット教材、自習用ノートを用い、その日に学んだ単元の復習を行うことで、授業での学習効果を増大させる。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力を要する	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力を要する	20%以上
1	一層努力を要する	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- 授業で学習した単語や表現を繰り返し練習し、定着するために、自習用ノートを用いる。
- 授業内容の定着のために、スタディサプリやデジタル教科書を活用する。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

学期・月	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
<p>1 学期</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p>	<p>Unit 0 Nice to Meet You(4)</p> <p>Unit 1 Hello, Everyone!(11)</p> <p>Unit 2 Our New Teacher(13)</p> <p>Unit 3 Our School(13)</p> <p>Unit 4 Friends in New Zealand (14)</p> <p>Unit 5 My Brother in Hawaii (13)</p> <p>Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K. (13)</p>	<p>【知】 [知識] あいさつや好きなものをたずねる文の形・意味・用法を理解している。(L・SI) 【技能】 あいさつや好きなものをたずねる文の理解をもとに、初対面や朝のあいさつをしたり、好きなものをたずね合ったり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>【思】 初対面の相手とおたがいのことを知るために、あいさつをして名前を伝え合ったり、好きなものについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしている。</p> <p>【知】 [知識] be 動詞や一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 be 動詞や一般動詞を用いた文の理解をもとに、おたがいの名前や好きなものなどについて伝えたり、たずねたりする技能を身につけている。</p> <p>【思】 おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて、おたがいのことや考えや気持ちを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。</p> <p>【知】 [知識] He [She] is …、や助動詞 can、This [That] is …、を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 He [She] is …、や助動詞 can、This [That] is …、を用いた文の理解をもとに、身近な人のことやできること、どのようなものかについて伝えたり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>【思】 身近な人やものについてよりよく知るために、身近な人のことやできること、どのようなものかについての紹介や疑問に思うことなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。</p> <p>【知】 [知識] what や who、 how や when、 where を用いた疑問文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 what や who、 how や when、 where を用いた疑問文の理解をもとに、ものや人、方法や時、場所をたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・W) 【思】 疑問に思うことを解決したり、知らないものや人について知るために、ものや人、方法や時、場所について、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしている。</p> <p>【知】 [知識] How many …? や What+名詞 …? の疑問文、命令文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 How many …? や What+名詞 …? の疑問文、命令文の理解をもとに、数や時刻、することなどについてたずねたり答えたり、指示や助言をしたりする技能を身につけている。</p> <p>【思】 おたがいのことをよりよく知るために、数や時刻、することなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたり、指示や助言をしたりしている。</p>	<p>【知識・技能】 定期テスト・小テスト</p> <p>【思考・判断・表現】 定期テスト・小テスト・パフォーマンステスト</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 定期テスト・ノートチェック</p> <p>【知識・技能】 定期テスト・小テスト</p> <p>【思考・判断・表現】 定期テスト・小テスト・パフォーマンステスト</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 定期テスト・ノートチェック</p> <p>【知識・技能】 定期テスト・小テスト</p> <p>【思考・判断・表現】 定期テスト・小テスト・パフォーマンステスト</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 定期テスト・ノートチェック</p> <p>【知識・技能】 定期テスト・小テスト</p> <p>【思考・判断・表現】 定期テスト・小テスト・パフォーマンステスト</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 定期テスト・ノートチェック</p>
<p>2 学期</p> <p>9</p> <p>10</p>	<p>Unit 5 My Brother in Hawaii (13)</p> <p>Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K. (13)</p>	<p>【知】 [知識] 三人称単数現在形の文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 三人称単数現在形の文の理解をもとに、自分と相手以外の人やものなどについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>【思】 クラスメートなど身近な人の魅力をほかの人に知ってもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。</p> <p>【知】 [知識] 代名詞や疑問詞 whose、which を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 代名詞や疑問詞 whose、which を用いた文の理解をもとに、人やものについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>【思】 自分と相手以外の人やもの持ち主などについて知るために、有名人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。</p>	<p>【知識・技能】 定期テスト・小テスト</p> <p>【思考・判断・表現】 定期テスト・小テスト・パフォーマンステスト</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 定期テスト・ノートチェック</p> <p>【知識・技能】 定期テスト・小テスト</p> <p>【思考・判断・表現】 定期テスト・小テスト・パフォーマンステスト</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 定期テスト・ノートチェック</p>

<p>1 1</p>	<p>Unit 7 An Online Tour of the U.K. (13)</p>	<p>知 【知識】 現在進行形を用いた文や感嘆文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 現在進行形を用いた文や感嘆文の理解をもとに、人が今していることについてたずねたり答えたり、感動や驚きの気持ちを伝え合う技能を身につけている。</p> <p>思 相手に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一場面ですしていることや感動や驚きの気持ちを、写真や動画を見せながら、事実や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で話している。</p>	<p>【知識・技能】 定期テスト・小テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト・小テスト・パフォーマンステスト 【主体的に学習に取り組む態度】 定期テスト・ノートチェック</p>
<p>1 2</p>	<p>Unit 8 Think Globally, Act Locally (14)</p>	<p>知 【知識】 不定詞（名詞的用法）や〈look＋形容詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 不定詞（名詞的用法）や〈look＋形容詞〉を用いた文の理解をもとに、したいことや人やもの様子について伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>思 世界や地域の問題をみんなで共有して解決するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、その現状を伝え協力を呼びかけるポスターを書いている。</p>	<p>【知識・技能】 定期テスト・小テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト・小テスト・パフォーマンステスト 【主体的に学習に取り組む態度】 定期テスト・ノートチェック</p>
<p>3 学期</p>	<p>Unit 9 Winter Vacation(13)</p>	<p>知 【知識】 一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 一般動詞の過去形を用いた文の理解をもとに、過去の出来事について伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>思 おたがいのことをよりよく知るために、クラスメートと冬休みの出来事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。</p>	<p>【知識・技能】 定期テスト・小テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト・小テスト・パフォーマンステスト 【主体的に学習に取り組む態度】 定期テスト・ノートチェック</p>
<p>1</p>	<p>Unit 10 This Year's Memories (15)</p>	<p>知 【知識】 be 動詞の過去形や過去進行形、There is [are]を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 be 動詞の過去形や過去進行形、There is [are]を用いた文の理解をもとに、過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことなどについて伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>思 日常の出来事や行事での思い出を残すために、体験したことや感じたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて日記を書いている。</p>	<p>【知識・技能】 定期テスト・小テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト・小テスト・パフォーマンステスト 【主体的に学習に取り組む態度】 定期テスト・ノートチェック</p>
<p>2</p>			
<p>3</p>			

※定期考査の4時間は別に定めております。